



しいば 議会だより

第90号

平成30年5月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話 7-67-0091



日本消防協会まとい受賞祝賀会(平成30年4月22日 開発センター)

3月定例会(2～3)
総括質疑(4)
一般質問(5～7)

議員活動報告(7)
議会の動き(8)

3月定例会

平成30年度一般会計当初予算

総額 51億 1,000 万円

(内容)

3月定例会は、3月8日から19日まで開会されました。平成30年度の一般会計と特別会計当初予算を連合審査期で審議し、本会議において提案どおり可決しました。一般会計においては、前年度より10.7%の増額となりました。

会計別の予算状況

会計名	金額(千円)	増減率
一 般 会 計	5,110,000	10.7%
国民健康保険特別会計	374,582	△ 26.3%
簡易水道事業特別会計	280,509	406.0%
国民健康保険病院事業特別会計	620,473	9.5%
電気事業特別会計	135,005	0.0%
介護保険事業特別会計	415,910	6.1%
後期高齢者医療特別会計	88,462	△ 6.1%
ケーブルネットワーク事業特別会計	66,641	△ 12.0%

平成29年度 補正予算

会計名	補正額(千円)	補正後の予算額(千円)
一 般 会 計	38,993	5,139,066
国民健康保険特別会計	△ 8,098	490,870
簡易水道事業特別会計	△ 1,434	89,264
国民健康保険病院事業特別会計	△ 4,484	521,984
電気事業特別会計	△ 6,676	129,114
介護保険事業特別会計	△ 4,848	414,585
後期高齢者医療特別会計	△ 3,820	84,276
ケーブルネットワーク事業特別会計	2,436	65,621

3月定例議会で決まったこと

●議案名

議案第 1号	平成29年度椎葉村一般会計補正予算(第8号)
議案第 2号	平成29年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 3号	平成29年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
議案第 4号	平成29年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第4号)
議案第 5号	平成29年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第3号)
議案第 6号	平成29年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 7号	平成29年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
議案第 8号	平成29年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第4号)
議案第 9号	平成30年度椎葉村一般会計当初予算
議案第10号	平成30年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算
議案第11号	平成30年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算
議案第12号	平成30年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算
議案第13号	平成30年度椎葉村電気事業特別会計当初予算
議案第14号	平成30年度椎葉村介護保険特別会計当初予算
議案第15号	平成30年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算
議案第16号	平成30年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計当初予算
議案第17号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
議案第18号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
議案第19号	職員の配偶者同行休業に関する条例の制定
議案第20号	椎葉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第21号	椎葉村個人番号カード等の多目的サービス利用に関する条例を廃止する条例
議案第22号	椎葉村印鑑条例の一部を改正する条例
議案第23号	椎葉村過疎地域自立促進計画の変更
議案第24号	仲塔辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更
議案第25号	尾向辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更
議案第26号	椎葉村公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の一部を改正する条例
議案第27号	椎葉村キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第28号	椎葉村空き家等適正管理に関する条例の制定
議案第29号	椎葉村特定空き家除却事業分担金徴収条例の制定
議案第30号	椎葉村高齢者共同生活支援施設使用料徴収条例の一部を改正する条例
議案第31号	椎葉村国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第32号	椎葉村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
議案第33号	椎葉村介護保険条例の一部を改正する条例
議案第34号	椎葉村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定
議案第35号	椎葉村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効率的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第36号	椎葉村水道事業等分担金徴収条例の制定
議案第37号	椎葉村営住宅管理条例の一部を改正する条例
議案第38号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第39号	工事請負契約の締結(平成29年度(社会資本整備総合交付金事業)鹿野遊地区公営住宅新築3棟工事)
議案第40号	平成29年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第4号)
議案第41号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例
諮問第 1号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦(松岡鍾氏が推薦されました)

総括質疑



那須清 議員

質問1 鳥獣害対策について

問1 鳥獣による被害は、農林業の振興にとって大変深刻な問題である。村も被害防止のため個体数の調整で捕獲支援、防護ネット補助など懸命な施策

を講じていることは評価する。猪・鹿の捕獲促進のため捕獲獣の解体処理場を設置し、ジビエ料理・ふるさと納税返礼品等の特産品・商品化することで、捕獲意欲の向上につながり、農林作物の被害減少につながると考えるが。

答1 防護柵等によりある程度は効果をあらわしており、駆除班の努力により個体数も少しは減っているようであるが、補助金は今後も継続していく。ジビエの加工に関しては、厳しい条件もあるが、クリアできれば考えたい。



河口吉弘 議員

問1 予算の目的は村民の福祉、所得向上。国等の補助金事業は内示がなければ予算執行ができないが、村の単独事業予算については早期に執行すべきである。

答1 規制を受けない事業であるので早期に執行するよう職員に指導している。

問2 消防の常備化について協議が進められているが、進捗状況と常備化に対する村の方針を尋ねる。

答2 美郷町、諸塚村、椎葉村の3町村で協議している。本村にとって消防団活動の支援を行いながらどのような常備化にしていくかが問題であり、現段階では様々な協議検討をしている。

問3 地域おこし協力隊員の任期(3年)終了後の定住、就業、就農、起業等の相談体制は整っているのかについて尋ねる。

質問2 耳川広域森林組合の不正着服疑惑問題について

問1 耳川広域森林組合において、出資金横領の不祥事が報道されたところである。林業立村を目指す本村は、当組合に対し、出資金をはじめ小径木加工場への支援・無利子運営貸付金など関係は多大で、今回の不正流用問題に対し、原因究明・再発防止・責任・処分等、村としての対応は。

答1 5市町村で協議をしており、今後の見直し計画等しっかりしたものが提出されない限り補助金等の支出はできない。また、第三者委員会に市町村の担当課長は入れるよう話をしている。組合長が来村し皆さん方に説明があるので、いろいろと聞いてほしい。

答3 行政としても体制づくりを考えながら、協力隊の皆さんとの話し合いを進めていきたい。

問4 旅館・民宿、小売業等に対する設備投資や施設改修、商品開発等に対する支援策を講じることが示されたことに大いに評価する。ライフラインで あるガソリンスタンド改修等についても支援策の検討をいただきたい。

答4 要望を伺いながら協議し、行政としても支援をしていきたい。

問5 耳川広域森林組合の出資金横領事件について、徹底した原因究明と責任の明確化、再発防止策が示されるまで、平成30年度耳川広域森林組合に貸付する林業振興資金4500万円の貸付は実行すべきではないと考えるが。

答5 貸付金、補助金を出している自治体としては、しっかりと対応していかなければならないと考えている。議会に対し組合長より説明を行うことになっているので、聞いていただきたい。

村長に聞く! ～ 一般質問 ～



那須重美 議員

質問 公共施設の実態について

問1 公共施設の総合管理計画(H29-H38)において、持続可能な施設のサービス提供を続けることが目的としている中、本村の人口推移からしても各施設の利用状況も減るものと思われる。施設の有効利用、適正配置、適切な維持管理の実現としての基本方針の中、定期点検、診断は実施されているのか。

答1 公共建築物183カ所を所有しており、重要施設では、電気工作物の維持及び運用に関するための点検や測定、試験を定期的実施している。主要施設である病院や平寿園等においても建築基準法に則り構造物及び建設設備の維持管理点検を定期的実施している。また、予算の面から職員等による目視確認等の日常点検も行っている。今後も総合管理計画と合わせて公共施設が良好な状態に維持され、適正な運用ができるよう公共施設等の管理の取り組みを推進する。

問2 維持管理していく上で施設としての利活用を今後どのようにしていくのか、また、財政負担の軽減・平準化などが課題だと思われます。利活用がされないまま管理していくのもどうかと思われます。今後の利活用の観点から施設としての維持・管理の方向

性を、どのような形で継続・維持するものか、そのような中、本村でも重要とされる観光施設及び農業施設の利用方法、管理形態を今後どのような方向性で行うものか見解を伺う。

答2 平成32年度に個別施設計画を立て、維持管理、廃止する場合も含めて利用状況を調査し、計画に従って管理運営していく。

問3 公共施設の再生は、今後もずっと継続する長期的な課題となる。空き家対策等に伴う利用の公共施設整備の計画等も必要ではないか。また、使用料が伴う施設においても見直しが必要ではないか。施設のマネジメントの導入も必要不可欠だと考える。老朽化施設に対しては、転用あるいは除去といった見直すところは見直すといった施設の維持・管理の運営をしていかないと財政負担等厳しい状況の中、圧迫してくるのではないかと思います。

答3 1番議員の言われるとおり、空き家対策も含め、公共施設の利用計画、廃止計画により考えていく。



岡村正司 議員

質問 早急な飲料水施設整備の取組みと水源地道の整備支援対策について

問1 現在村が行っている施設整備事業へ申請し順番を待っている地区、まだ整備が整っていないところに年間の施工件数を増して、少しでも早い整備完了を考え、事業の利便性の向上を図られてはいかかが。また、水道未普及地域の管理道の状況調査を行い、整備が必要とされる箇所については早急な支援対策を講じ、村民が安全で安心して暮らせる環境づくりの取組について伺う。

答1 現在4割が水道未普及地域となっており、30年度は小規模施設設置事業で3地区、簡易水

道特別会計事業で2地区の施工を予定している。単独事業と言うこともあり厳しい状況の中着実に整備している。施工については、確実に取水が可能であること、用地の問題や給水する世帯がまとまった地域であることを前提に給水難地域を優先に施工を行っていく。水源地までのアクセス道の整備については、一般家庭用飲料水供給施設補助事業などで対応しているので相談してほしい。





河口吉弘 議員

質問1 ふるさと納税を活用した施策の推進について

問1 平成19年度に創設されたふるさと納税制度により、平成27年度から29年度の3年間で約8,700万円の寄付金が寄せられ、村づくりの貴重な財源となっている。寄付金を単なる歳入財源として予算執行することを改め、村の重要な政策課題である子ども子育てや焼き畑農法、神楽など伝統文化の保存継承事業の財源として予算の「見える化」を図り、納税者に対して寄付金をどの事業に活用したかを公表すべきではないか。

答1 寄付をいただく場合は、福祉、少子高齢化対策に関する事業など6項目の中から目的を指定し寄付をいただいている。給付金すべてが一般財源であることから指定した目的に活用されているとは言い難く、今後特定財源化に向け検討したい。

問2 納税額の半分は村の特産品などをお礼として寄付者に届ける仕組みになっており、新しい流通の一つとなっている。椎葉の特性を生かした通年的に出荷可能な生産体制を図り、所得向上につなげていく必要があると思うが。

答2 返礼品については、本村で生産されたものは高齢化等により生産拡大が困難状況であり、継続的な返礼品提供に向けた生産体制の確立については、関係団体と協議していく。



那須清 議員

質問1 林業振興対策について

問1 高齢化・林業従事者の減少・鳥獣被害の拡大等で、年々未植栽地の増加、荒廃林野が増えつつある。そこで不在地主や自己管理できない荒廃林野について、災害等の未然防止の上からも公有化・分収林化等の対策が必要ではないか。また、本村の基幹産業である、椎茸栽培において原木不足が問題となっている。杉・檜等の針葉樹一辺倒からクヌギ等の植栽振興を講じる必要が急務と考えるが。

答1 現在国では、森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の創設が検討されている。これは新たな森林管理システムを構築するもので、森林管理意欲のない森林所有者から市町村が森林の管理委託または寄付を受け、条件の悪い林地は森林環境

質問2 男女平等参画社会づくりと児童生徒の混合名簿について

問1 平成25年に男女共同参画推進条例を制定、条例の基本理念には「性別による固定的な役割分担について、制度、慣行が影響を及ぼすことがないよう配慮する」とし、教育にかかわる者の責務として、参画社会の形成に配慮した教育に努めなければならないとしている。

県内の大部分の小中学校では、児童生徒の名簿がこれまでの慣行に基づいた「男女別名簿」として作成されている。「男女別名簿」は、男が先、女が後、男は仕事、女は家庭という社会的につくられてきた男子優先社会の慣行、性別役割分担意識に基づくものである。

教育の場から男女共同参画社会づくりを進めていく上で、児童生徒の名簿作成にあたっては、性別でくくることなく五十音別にするなどの「男女混合名簿」に改めるべきであると思うが。

答1 (教育長) 校長会と協議を進めており、学校では30年度より導入の方向となっている。

生年月日順、五十音順にするかなど名簿の順番については、学校現場に任せたい。



税(仮称)で間伐を行い、条件のよい林地は意欲のある林業経営者に委託をするというものである。森林所有者が不明の場合は、それを管理する権利を色んな手続きを経て管理する権利を市町村へ移そうとするものである。まだ法案の段階であり、公有化、分収林化ではなく、新たな森林管理システムの中で検討していく。クヌギの植栽については、再造林に対する上乘せ補助を行っており、種ごま、自家原木に対する補助も行っていることがクヌギの植栽振興につながっていると考え。椎茸部会、各関係機関と連携し取り組んでいく。



リーダー養成塾への派遣について

問1 今、全国的に地方創生が叫ばれているなか、鹿児島県の某地域に「行政に頼らない村おこし」で全国的に有名な地域・リーダーがいる。そこではリーダー養成のための人材養成塾を開校し、全国各地より塾生が殺到し好評を得ている。本村も行政

職員ほか地域代表を派遣し見聞きし人材育成養成に取り組んだらどうか。

答1 行政に頼らない村おこしを成し遂げており、理想的であると思っており、研修についても検討した。リーダーの養成は常に考えていかなければならないと考えており、地域のリーダーの養成についてはいろいろな研修の場があるので、積極的に参加してほしい。

議員活動報告

宮崎北部森林管理署要望活動 2月14日

産業福祉常任委員長 椎葉 芳一

尾向公民館と合同で、九州森林管理局宮崎北部森林管理署に対して、要望活動を行った。要望内容は、国有林内の治山事業の推進と森林整備を中心とした、災害に強い山づくりに積極的に取り組んでいただくよう要望を行った。

北部管理所長からは、国有林が地域貢献につながるよう努めていきたいとの回答をいただいた。また、鳥獣による被害対策にも力を入れるとの考え方が示された。



椎葉村園芸部会定例総会 2月23日

産業福祉常任副委員長 椎葉 信紘

開発センターにて、平成30年度園芸部会総会が開催され、活動決算報告。平成30年度計画、部会員の加入脱退等が承認された。総会に先立ち功績表彰として、村長表彰に甲斐靖彦氏、議長表彰に椎葉康裕氏、部会長表彰に中竹義人氏の3人が受賞しました。引き続き地域おこし協力隊の黒木崇司さんと上野諒さんによる事例発表、また延岡生花卸売市場組合長の岡田明利氏とファーマインド新筑豊青果の大田伸一郎氏の情勢報告があり、部会員の熱意が感じとれた。ますますの所得向上と生産振興に励んでいただきたい。



和牛改良組合総会 3月29日

産業福祉常任委員 那須 清

第42回椎葉村和牛改良組合の総会が開催された。平成29年度の貢献のあった優良会員へ各種表彰伝達、来賓による情勢報告・東臼杵郡管内の市町村別子牛販売実績では、本村が4億2千万円でトップの成績との報告。また登録協会の柳橋部長による「宮崎牛の改良について」と題し記念講演があり、更なる畜産振興を誓い閉会した。



議会の動き

2月	2日	九州中央自動車道期成会現地視察	高千穂・延岡市
	6日	日向東白杵広域連合議会運営委員会	日向市
	13日	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会	役場会議室
	14日	宮崎北部森林管理署への要望活動	日向市
	18日	生涯学習フェスティバル	開発センター
	20日	県町村議長会総会	宮崎市
	21日	地域医療講演会	日向市
	22日	入郷地区衛生組合定例会	美郷町
	22日	日向東白杵広域連合議会	日向市
	23日	園芸部会総会	開発センター
	26日	北部広域行政事務組合議会	延岡市
	27日	第1回議会運営委員会	委員会室
3月	27日	第1回全員協議会及び勉強会	
	1日	健康づくり推進協議会	役場会議室
	2日	東白杵郡町村議長会定期総会	日向市
	8日	第2回全員協議会	委員会室
	8~19日	村議会3月定例会	議場
	13日	小中学校教職員教育研究論文表彰式	役場会議室
	14日	耳川広域森林組合説明会	委員会室
	16日	椎葉中学校卒業式	椎葉中学校
	19日	第1回議会広報広聴特別委員会	委員会室
	20日	第4回社会福祉協議会理事会	すこやか館
	22日	椎葉村国民健康保険運営協議会	すこやか館
	23日	小学校卒業式	各小学校
	26日	椎葉村総合戦略会議	役場会議室
	26日	椎葉村地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営協議会	すこやか館
	27日	林政審議会	役場会議室
	27日	保育園・児童館卒園式	各保育園・児童館
	29日	和牛改良組合総会	開発センター
	30日	村職員退職者離任式	役場

4月	2日	村職員辞令交付式	役場会議室
	6日	椎茸部会総会及び椎茸品評会	開発センター
	11日	椎葉中学校入学式	椎葉中学校
	12日	小学校入学式	各小学校
	22日	日本消防協会特別表彰「まとい」受章 祝賀会	開発センター
	25日	第3回議会運営委員会	委員会室
	25日	第4回全員協議会	委員会室
	25日	第1回臨時会	議場
	25日	平寿園跡地活用調査検討特別委員会	委員会室
	25日	地域医療を守る調査検討特別委員会	委員会室

村乾椎茸品評会 4月6日

産業福祉常任委員長 椎葉 芳一

去る4月6日開発センターにおいて椎葉村椎茸部会総会が開催された。乾椎茸品評会では、生産者団体の部、個人の部の表彰も行われた。また、(株)本吉商店専務の黒田利光氏により、「原木乾椎茸の現状と今後」と題して講演が行われた。



椎葉村議会テレビ生中継

お茶の間に議会の様子がご覧いただけます。放送は11チャンネルです。
月定例会は、月 日開会の予定です。

編集後記

入学式を終え、早いものでもう2ヶ月になろうとしている。真新しい制服もすっかり体になじんで、一気に大人っぽくなった生徒達の顔に心とむ日々である。今年の入学式では、これまでの「男女別名簿」から五十音順の「男女混合名簿方式」による点呼、着席となった。

「男子が先」、「女子が後」という男子優先社会のひとつの慣行が改められた出来事を目の当たりにした入学式だった。

(文責:河吉弘)